

2020年2月3日

頤椎疾患(頤椎椎間板ヘルニア、頤椎症)と診断を受けた患者さんへ 【治療データの調査研究への使用のお願い】

社会医療法人宏潤会 大同病院、だいでうクリニック脳神経外科では、一般社団法人 日本脳神経外科学会と協力して「頤椎人工椎間板の治療成績に関する多施設共同研究」という臨床研究を行っております。頤椎疾患の現在の標準的な治療法は頤椎前方除圧固定術、頤椎後方除圧（椎弓切除、椎弓形成）あるいは頤椎後方固定術です。欧米諸国では従来から頤椎人工椎間板が使用されていましたが、日本では認可されていませんでした。2017年になり日本でも初めて頤椎人工椎間板の使用が認可されました。この研究は、頤椎人工椎間板の有効性と安全性を明らかにすることで、より良い治療法を確立することを主な目的としています。そのため、治療を受けた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

○この調査研究は社会医療法人宏潤会大同病院倫理審査委員会で審査され、院長の承認を受けて行われます。研究期間は以下のとおりです。

西暦 2020年 2月 3日 ~ 西暦 2023年 3月 31日まで

- 今回の調査研究の対象は頤椎疾患の治療を受けた患者さんのカルテ、画像データです。
- 日常保険診療として行われている治療のデータであり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- 使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。
- 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
- 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は社会医療法人宏潤会 大同病院、だいでうクリニックに帰属し、あなたには帰属しません。
- この調査研究は、日常保険診療として行われている治療のデータを使用するものであり、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。

また、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

社会医療法人宏潤会 大同病院、だいでうクリニック 脳神経外科

研究責任者：中島 康博

T E L : 052-611-6261(代)

この調査研究は、今後の医療の発展に資するものですので、ご理解ご協力の程、何卒、よろしくお願ひいたします。

